

トピックス

日仏鉄道技術シンポジウム2017を共催しました

鉄道総研は、日仏工業技術会、在日フランス大使館が主催する「日仏鉄道技術シンポジウム2017」ー都市鉄道と近未来ーを公益財団法人日仏会館とともに共催いたしました。

日仏鉄道技術シンポジウムの開催は、2007年(第1回)、2012年(第2回)に引き続き、今回で3回目となります。今回は、「都市鉄道と近未来」をテーマとして、パリ交通公団(RATP)、アルストム社およびフランス運輸・整備・ネットワーク科学技術研究所(IFSTTAR)の専門家をお招きして開催しました。

鉄道総研はIFSTTARと共同研究協定を結び研究協力を進めており、今回、IFSTTARを含むフランスの鉄道関係組織などとの間で、自動運転、AI、IoTなどの最新技術の動向や都市鉄道への適用について情報交換を行うため、本シンポジウムを共催しました。

日本からは、東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、元東京都交通局および鉄道総研の専門家が参加しました。シンポジウムでは、下記のとおり、テーマに沿って日仏の専門家か

ら両国での都市鉄道における共通の課題を明らかにするとともに、近未来に向けた解決の道筋を示す7件の講演がありました。鉄道総研からは、熊谷則道理事長が共催挨拶を、渡辺理事が講演を行いました。

シンポジウムには、国内外から約110名の方々に参加頂き、講演の後の質疑では、参加者間で都市鉄道の現状や課題について活発なディスカッションが行われました。



講演会の様子

記

1.日 時 平成29年4月23日(日) 13:30~18:00

2.場 所 日仏会館(東京都渋谷区恵比寿)

3.主 催 等 主 催：日仏工業技術会、在日フランス大使館  
共 催：公益財団法人日仏会館、公益財団法人鉄道総合技術研究所  
後 援：国土交通省、パリ交通公団(RATP)、東京地下鉄株式会社  
協 賛：一般社団法人日本鉄道技術協会、一般社団法人日本地下鉄協会

4.プログラム(講演順)

開会の辞	日仏工業技術会 会長 高橋 裕 氏
挨拶	公益財団法人日仏会館 副理事長 横山 悠喜 氏
共催挨拶	公益財団法人鉄道総合技術研究所 理事長 熊谷 則道
来賓挨拶	国土交通省 大臣官房技術審議官(鉄道局) 潮崎 俊也 氏
	東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役 西山 隆雄 氏

講演① 「JR東日本がIoT×AIで目指すモビリティ革命」 東日本旅客鉄道株式会社 執行役員  
総合企画本部 技術企画部長  
JR東日本研究開発センター所長 横山 淳 氏

講演② 「Parisian Metro Network Modernization, Energy Saving and Automation  
《パリのメトロネットワークの近代化、エネルギーの節約とオートメーション》  
RATP 技術部長 ジャン-マーク・シャロウ 氏  
鉄道輸送システム長 クロード・アンドロウエ 氏

講演③ 「ネットワークとシミュレーションによる鉄道の革新」  
公益財団法人鉄道総合技術研究所 理事 渡辺 郁夫

講演④ 「東京メトロの技術開発」 東京地下鉄株式会社 企業価値創造部長 小坂 彰洋 氏

講演⑤ 「東京周辺の軽量輸送システム」 元東京都交通局 古田 勝 氏

講演⑥ 「Alstom Business with Japanese Urban Transport《日本の都市鉄道とアルストムのビジネス》」  
アルストム 国際ビジネス顧客部長 ジェラルド・コワルスキー 氏

講演⑦ 「R&D on Railway Infrastructures and Systems at IFSTTAR  
《IFSTTARでの鉄道インフラとシステムにおけるR&D》  
IFSTTAR 材料構造部 次長 ブルーノ・ゴダー 氏

総括 在日フランス大使館 ピエール・ファルダン 氏

閉会の挨拶 日仏工業技術会 鉄道交通委員会 委員長 菅 建彦 氏